

# PCSAアクションレポート（理事会）

平成29年6月版

6月拡大理事会		
開催日時	平成29年6月22日（木） 16時～17時30分	
開催場所	PCSA会議室	
出席者	加藤 英則代表理事・大石 明德副代表理事・合田 康広副代表理事	
	金本 朝樹副代表理事・齊藤 周平副代表理事・荒俣 伸一理事・金光 淳用理事	
	城山 稔央理事（代理：城山 朝春氏）・中島 基之専務理事（9名）	
	川辺 悦史監事・宮村 伸輔監事	
	佐藤 公平モデレーター・牛島 憲明アドバイザー	
	オブザーバー出席者 賛助会員16社29名	
	賛助会員	
	株式会社スリーストン	増山 浩之
	株式会社大商	國澤 良幸
		國澤 良平
		園田 悦志
	株式会社マースエンジニアリング	秋山 学
		江藤 征弘
	三本コーヒー株式会社	山本 聡
		石山 一広
		石黒 勝
	株式会社ピーエーネット技術研究所	竹田 雅俊
	株式会社エース電研	吉田 順一朗
	オムロンアミューズメント株式会社	鈴木 勝浩
	ジャパンネットワークシステム株式会社	長久保 明
		若山 佳則
	ゼニス株式会社	中村 克彦
	グローリーナスカ株式会社	宮崎 昌彦
		佐藤 佳春
		三浦 修
		堀金 泰陽
ファンライフ・デザイン株式会社	青木 康允	
株式会社ビジョンサーチ	桜井 一英	
株式会社東和商事	岡本 健	

出席者	オリックス株式会社	高鍋 貴行
		碓 昌宏
		鈴木 智紀
	株式会社山宝商会	廣田 道明
		小林 敦
	株式会社インターコスモス	前川 竹志
		古賀 新
討議事項	<b>第1号審議議案 「依存に関するPCSA声明」 審議【修正承認・「考え方」としてホームページに掲載】</b>	
	当件について、依存問題対策プロジェクトチームリーダーより説明があった。現在、PCSAに	
	おいて依存問題の方向性を示している文書等はなく、その対応として提案した。	
	審議の結果、声明ではなくPCSAホームページでの一般への公開を承認した。	
	＜依存に関するPCSAの考え方＞	
	PCSAはパチンコ・パチスロ依存問題に全力で取り組みます	
	パチンコ・パチスロは、遊技する人を夢中にさせる魅力がありますが、現実として、	
	過度なめり込みによる依存の問題も生じています。一般社団法人パチンコ・チェーンストア	
	協会(PCSA)は、パチンコ・パチスロにおける依存問題対策に全力で取り組みます。	
	〈パチンコ・パチスロとは〉	
	娯楽とは、人々の暮らしに豊かさや楽しさを与えるものとして、広く社会から認められる	
	存在を言います。PCSAはパチンコ・パチスロを「日々の暮らしにおさまる『日常の娯楽』」	
	と考え、多くのお客様がストレスの発散や、気分転換、暇つぶし的手段として、楽しく	
	安心して遊んでいただける環境を提供するため積極的に行動しております。	
	しかし一方で、身近で、手軽に、簡単にできる娯楽であるがゆえに、中には過度に	
	めり込み、多重債務や子供の車内放置事故などの重大な問題を起こしてしまう人もいます。	
	〈依存問題対策〉	
	依存問題の対策として、社会から求められている対応や、業界全体の組織であるパチンコ・	
	パチスロ産業21世紀会の対策に加え、PCSAでは重点的に次のような取り組みをいたします。	
	1 パチンコ・パチスロが日常の楽しい遊びであり続けるために努力します。	
	2 社員教育を強化し、お客様に楽しい時間を過ごしてもらえるようにします。	
	3 PCSAに依存問題対策プロジェクトチームを設置し、対策の活動状況を公開します。	
〈お約束〉		
パチンコ・パチスロ依存（過度なめり込み）問題への対応は、パチンコ・パチスロ業界の		
可及的責務です。PCSAは今後もこの問題に真摯に向き合い、自主的かつ積極的に様々な		
取り組みを行います。		

討議事項	<b>第2号審議議案 「第16期第1回臨時社員総会に『PCSA理事 増員』を審議議案とする件」審議【承認】</b>
	当件について事務局より説明があった。
	株式会社ダイナム 代表取締役社長 藤本 達司様よりPCSA理事への立候補があった。
	理事の増員は、社員総会の決議にて選任ができるため、次回平成29年8月24日に開催する第16期第1回臨時社員総会で審議する事ができる。
	本日は「第16期第1回臨時社員総会においてPCSA理事を増員する件」を総会審議事項としてよいか審議、承認された。
	＜審議の根拠＞
	PCSA定款
	第3章 第14条（社員総会）2. 「社員総会は、一般社団法人及び一般財団法人に関する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律
	第63条 「役員（理事及び監事をいう。以下この款において同じ。）及び会計監査人は、社員総会の決議によって選任する。」
	＜新理事候補者プロフィール＞
	お名前 : 藤本 達司（ふじもと たつじ）様
	生年月日 : 1961年2月14日生まれ
	ご略歴 : 1986年1月 株式会社ダイエー 入社
	2001年12月 株式会社ダイナム 入社
	2009年3月 同社 購買部長
	2012年3月 同社 物流部長
	2015年6月 同社 執行役員物流部長
	2016年3月 同社 執行役員購買部長
	2016年6月 同社 取締役購買部長
	2017年1月 同社 取締役情報管理部長
	2017年6月 同社 代表取締役社長（現任）
	<b>第3号審議議案 「第16期研究部会等 リーダー・サブリーダー・担当理事」審議【継続審議】</b>
	当件について、事務局より説明があった。下記の3名の研究部会・プロジェクトチーム担当理事が今期にお願いしたい方。新遊技法検討会の荒田委員長については5月電子理事会で承認済みなので、新委員長としての報告になる。
	＜新担当理事候補案＞
	法律問題研究部会
	担当理事 山田 孝志氏（株式会社TRY&TRUST 代表取締役社長）
	人事問題研究部会
	担当理事 城山 稔央氏（ミカド観光株式会社 代表取締役社長）
	依存問題対策プロジェクトチーム
	担当理事 河本 成祐氏（株式会社晋陽 代表取締役社長）
	＜新遊技法研究会・景品検討チーム 新委員長 報告＞
	新遊技法研究会・景品検討チーム
	委員長 荒田 政雄氏（夢コーポレーション株式会社 監査役）

討議事項	<b>第4号報告議案 「風営適正化法施行規則等の改正について」 報告</b>
	当件について、事務局より説明があった。「風営適正化法施行規則等の改正について」の草案が出たという情報があったので報告する。
	＜風営適正化法施行規則等の改正（草案）＞
	1 改正の趣旨
	ギャンブル等依存症対策の強化にの観点から、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則（以下「施行規則」という。）及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則（以下「遊技機規則」という。）を改正する。
	2 改正の概要
	(1) 出玉規制関係
	(ア) 出玉規制の強化
	標準的な遊技時間（4時間）において遊技者が獲得できる遊技球数（遊技の用に供した遊技球数を減じた純増分）の上限が5万円を下回るよう（出玉率1.5倍。既存の3分の2程度の出玉）に制限。これに合わせ、1時間及び10時間の出玉規制についても規制を強化する。
	(イ) 大当たり出玉規制の強化
	上記と同様に大当たりによる出玉の上限についても、おおむね3分の2となるよう2400個（9600円相当）から1500個（6000円相当）へと引き下げる。
	(ウ) 賞品の価格の最高限度に関する基準の引下げ
	大当たり出玉規制に伴い、賞品の価格の最高限度に関する基準を9600円に消費税等を加えた額から、6000円に消費税等を加えた額へと引き下げる。
	(2) 管理遊技機に係る規格の追加
	管理遊技機実現するために必要となる規格等を定める。
	(3) 管理者の業務の追加
	ぱちんこへの依存防止対策への取組を一層促すため、必要な措置を講ずることを管理者の業務として規定する。
	(4) ぱちんこ遊技機への「設定」の導入
	ぱちんこ遊技機に対し、大当たり抽選に係る確率の組合せを「設定」として、6種類まで認める。
	3 その他
	施行期日は、公布から概ね5か月後を予定。
	現行の規則により施行目前に認定・検定を受けている遊技機については、当該認定・検定の有効期間（3年間）は施行日後も経過措置により、引き続き営業所への設置を認めることとしているほか、施行目前に認定・検定の申請等がなされている遊技機についても、施行日前の認定・検定に係る手続の進捗状況に応じて、施行日から概ね3年間は営業所への設置を認めることとしている。

討議事項	<b>第5号審議議案 「第61回PCSA公開経営勉強会」 審議【継続審議】</b>
	当件について事務局より説明があった。
	「8月PCSA公開経営勉強会 講師（案）」
	日時：平成29年8月24日（木） 15：30～17：45
	会場：TKPガーデンプレミアム神保町 大ホール（スクール240名）
	第一候補 鍛冶 博之氏（徳島文理大学 総合政策学部 講師）
	講演テーマ1：「パチンコにおける依存問題の捉え方」
	講演テーマ2：「パチンコホールにおけるチェーンストアの可能性」
	第二候補 横山 和夫氏（公認会計士、元東京理科大学教授）
	講演テーマ：「新入社員の育て方」
	第三候補 「遊技機メーカーの今後の戦略 第四弾」
	パチンコ編： 京楽産業、株式会社
	スロット編： 株式会社山佐
	<過去の講演企業・パチンコ編>
	第一弾 株式会社三洋物産、第二弾 サミー株式会社、第三弾 株式会社藤商事
	<過去の講演企業・スロット編>
	第一弾 株式会社オーイズミ、第二弾 株式会社パイオニア、
	第三弾 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
	第四候補 POKKA 吉田氏（ジャーナリスト）
	講演テーマ：「規則改正の概要とぱちんこ業界の進むべき道」
	<b>第6号審議議案 「学生懸賞アイデア・エッセイ」 審議【継続審議】</b>
	当件について、事務局より説明があった。
	<PCSA学生懸賞アイデア・エッセイ 継続について（アンケートの結果と考察）>
	<アンケート開催概要>
	期 間：2017年5月18日～5月31日
	対 象：2015年4月～2017年4月に会員企業に新卒入社した社員
	（第10回～12回対象）
	回 答：166名（母数はおおよそ1200名、13.8%）
	方 法：インターネットもしくはFAXにて回答（インターネットからが156名）
	<アンケート回答概要>
・懸賞を「認知」していた方は67名（40.4%）。(Q2)	
・認知した方の中で「応募」した方は21名（31.3%）。(Q4)	
・応募動機の最多は「入社企業からの課題」で16名（76.2%）。	
2位は「パチンコ業界に関する理解を深めたかった」で6名（28.6%）。(Q5、複数回答)	
・「テーマ」「文字数」「応募期間」「賞金」は、「適正」という回答が75%以上。(Q7)	

討議事項	<考察>
	過去3回の応募数は第10回38名、第11回29名、第12回13名、合計80名でした。この
	過去3回で合計29名の応募者を出していた会員企業が「内定者の負担となり、内定
	つなぎとめのマイナスになる」という判断から、今後「課題」とすることを
	取りやめる事になりました。それにより応募数の減少が予想され、人事問題研究
	部会で学生懸賞の継続について再考する発端となりました。
	人事問題研究部会では会員企業の新卒採用を重要視しており、学生懸賞アイデア・
	エッセイに替わる新たな事業を検討しております。
	上記のような経緯もあり、協会として学生懸賞を継続するのであれば、まずは
	「開催の目的」をはっきりさせるべきであると考えます。
	当初、「学生の母集団形成」を目的としていましたが、なかなか結びつき
	ませんでした。その後「内定者フォローツール」で生かそうとしましたが、
	採用現場とのギャップがありました。
	今後、開催の目的をどこに持っていくのか。「学生の意見を聞きたい」のか、
	「内定者に業界について考えてもらいたい」のか、やはり「学生に就職先として
	この業界に目を向けてほしい（母集団形成）」のか、「重要な協会行事のひとつ
	として残したい」のか。
	それによりアプローチは変わってくると思います。繰り返しになりますが、
	継続のためには、まずは目的を明確化し、目的を達成するためにどうすればよいか、
	検討すべきだと考えます。
	以上
	<b>第7号審議議案 「第16期海外拡大理事会 開催」審議【継続審議】</b>
	当件について、事務局より説明があった。
	<<第16期PCSA9月拡大理事会・海外研修（案）>>
	9月拡大理事会・『パラダイスシティ』仁川視察
	視察時期：平成29年9月21日（木）～9月23日（土）
	<スケジュール>
9月21日 午後 「カジノ視察」	
「9月拡大理事会」	
夜 「情報交換懇親会」	
宿泊 「パラダイスホテル&リゾート」宿泊	
9月22日 終日 「自由行動」	
宿泊 「パラダイスホテル&リゾート」宿泊	
9月23日 帰国	
* 「カジノ視察」に「バックヤード見学」「幹部のレクチャー」を組み込む	
<b>第8号審議議案 「パチンコ遊技機の軽量化に関する要望について」審議【承認】</b>	
当件について、事務局より説明があった。余暇進よりパチンコ遊技機の軽量化に関し、	
ホール5団体から日工組に要望を出せないかという依頼があった。	

討議事項	<b>第9号報告議案 「5月電子理事会」報告</b>
	当件について、事務局より説明があった。
	「PCSA5月電子理事会審議結果報告」
	審議議案： 新遊技法研究会 第16期委員長について
	推薦者： 荒田 政雄様（夢コーポレーション株式会社 監査役、法律問題研究部会リーダー）
	推薦理由： 現在、新遊技法研究会ではメインテーマを「遊技新法の成立」とし、
	それに向け活動をしております。第16期の委員長選出に当たり、長年
	法律問題研究部会で活躍し、第15期より法律問題研究部会リーダーに
	就任されている荒田様が最適任と考え推薦させていただきました。
	審議結果： 賛成8名、反対0名、無回答4名（理事12名中）
	ご意見： 無し
	以上の通り過半数の賛成があり、本審議は「承認」となりました。つきましては、
	次回6月22日開催の新遊技法研究会から、荒田 政雄様をリーダーとして研究会を
	開催していきます。
	<b>第10号報告議案 「第16期定時社員総会・第60回PCSA経営勉強会」報告</b>
	当件について、事務局より説明があった。
	参加人数は総会が正会員19名、賛助会員40名、アドバイザー・業界誌他が18名、合計
	77名。勉強会が正会員54名、賛助会員59名、アドバイザー・業界誌他が23名、合計136名。
	経営勉強会のアンケート結果も添付した。いくつかご要望があり、「シリーズで
	やってほしい」「広告宣伝に関するセミナー希望」というような意見もあった。
	<b>第11号報告議案 「研究部会・委員会活動」報告</b>
	当件について、事務局より説明があった。
	<b>1) コスト問題研究部会（リーダー：佐藤 千恵）</b>
	1. 6月研究部会（6月8日（木）13時～17時開催・PCSA会議室にて）
	内容：部員近況報告（コスト関連情報交換）
	・「長野県 最新ホール事情」 JCMシステムズ株式会社 宮村 伸輔サブリーダー
	・拡大コスト問題研究部会 開催について
	・今期活動計画について
	・コスト削減に関する情報共有
	2. 7月研究部会（7月6日（木）～7日（金）長野にて開催予定）
1日目：ストアコンパリゾンin長野Ⅰ（4店舗）	
2日目：株式会社アメニティーズ 本社訪問	
拡大コスト問題研究部会in長野	
ストアコンパリゾンin長野Ⅱ（4店舗）	

討議事項	<b>2) 人事問題研究部会（リーダー：志賀 健太郎）</b>
	1. 6月研究部会（6月9日（金）11時～15時開催・PCSA会議室にて）
	<定例研究部会>
	1. 企業トピック
	・在宅勤務について
	・清掃事業について
	2. 第12回学生懸賞アイデア・エッセイ
	・表彰式報告
	・アンケート結果検討
	3. 9月拡大部会in名古屋について
	4. 11月拡大部会in福井について
	5. 労政時報勉強会
	1) 労政時報3929号：「問題社員」をめぐるトラブル解決のための法的対応
	2) 労政時報3931号：再確認 懲戒処分の実務ポイント
	3) 労政時報3930号：2017年度決定初任給の水準
	4) 労政時報3931号：5月30日施行 改正個人情報保護法の概要と実務留意点
	5) NIKKEI BUSINESS 特集 労基署はもう見逃さない
	2. 7月研究部会（7月14日（金）11時～15時開催予定・PCSA会議室にて）
	<定例研究部会>
	・第12回学生懸賞アイデアエッセイについて
	・拡大部会 訪問先研究 等
	<b>3) 不正対策研究部会（リーダー：松本 浩）</b>
	1. 5月研究部会（5月19日（木）13時～17時開催・PCSA会議室にて）
	・4月ゴト被害アンケートについて
	・最新ゴト情報について
	・不正対策ノウハウについて
	・業界誌 不正対策記事について
2. 6月研究部会（6月30日（金）13時～17時開催・PCSA会議室にて）	
・5月ゴト被害アンケートについて	
・最新ゴト情報について	
・不正対策ノウハウについて	



討議事項	<b>4) 法律問題研究部会（リーダー：荒田 政雄）</b>
	1. 5月研究部会（5月27日（土）13時～16時開催・PCSA会議室にて）
	内容：日常営業における全国各地の事例について情報共有
	1. 「安心パチンコ・パチスロアドバイザー講習会 開催案内（福岡） 2017.6.14」について
	2. 「第166回拡大法律問題研究部会 in札幌-ご案内2017.6.23～24」について
	3. 「PCSAアンケート-新基準に該当しない高射幸性遊技機設置状況まとめ」について
	4. 「新基準に該当しない高射幸性遊技機設置状況の推移（20161231）について
	5. 「法律問題研究部会-質問コーナー」Q くぎ確認シートについて
	6. 「新流通制度 アンケート まとめ」について
	7. 業界記事
	・「パチンコ六法全書-遊技機のカシメ不良とメーカー責任」2017.4
	・「依存問題って何が問題？」プレイグラフ-2016.5
	・「風営法とパチンコ営業」PiDEA-2017.4
	8. 「日工組 管理遊技機説明会 2017.5.22」について
	9. 「第60回PCSA経営勉強会」について
	2. 6月研究部会（6月23日（金）～24日（土）札幌にて開催）
	1日目：拡大法律問題研究部会 in札幌
	2日目：ストアコンパリゾン in札幌（3店舗）
	<b>5) 新游技法案研究会（景品検討チーム）（委員長：荒田 政雄）</b>
	1. 6月研究会（6月22日（金）14時45分～15時45分開催・PCSA会議室にて）
	内容：検定機と性能が異なる可能性のある遊技機の対応について
	景品提供の現状について
	2. 7月研究会（7月20日（金）14時45分～15時45分開催予定・PCSA会議室にて）
	内容：新游技法の対応について
	検定機と性能が異なる可能性のある遊技機の対応について
	景品提供の現状について
	<b>6) 依存問題対策プロジェクトチーム（リーダー：辻 良樹）</b>
	1. 6月研究部会（6月16日（土）13時～16時開催・PCSA会議室にて）
	1. 依存に関するPCSA声明について
	2. ギャンブル依存症対策基本法案 概要（未定稿）について
	3. 自己申告プログラムについて
	4. 海外における特定複合観光施設に関する調査分析業務委託報告書について
	5. 依存関連 記事
・05-1 記事「リカバリーサポート・ネットワークは業界の危機を救えるのか？」PiDEA-2017.5	
・05-2 記事「安心パチンコ・パチスロアドバイザーの存在は有効な対策？」PiDEA-2017.5	
・05-3 記事「業界よもやま話 論点がかみ合わない田中氏と歩み寄る時期」PiDEA-2017.5	
2. 7月研究部会（7月29日（土）9時30分～12時開催予定・PCSA会議室にて）	
1. 依存問題とは（問題点の明確化）	
2. 情報収集・共有	
3. パチンコホールの取組みの整理、独自の対応の提案	
4. 中長期的なパチンコのあり方の研究	

討議事項	<b>第12号報告議案 「業界団体活動」報告</b>
	当件について、事務局より説明があった。
	・第12号報告議案-1 機構定時社員総会
	平成29年6月15日に機構の定時社員総会が開催された。議案は3点
	第1号議案 第11期事業年度 計算書類承認の件
	第2号議案 理事10名選任の件
	第3号議案 常勤役員退職慰労金支給の件
	*第2号議案で設立以来就任されていた伏見専務理事が退任され、変わって
	羽賀 求氏が理事に就任された。(羽賀氏は総会後の理事会で専務理事に就任)
	・第12号報告議案-2 自己申告プログラム 導入時の報告書
	平成29年6月8日付で、日遊協から「自己申告プログラム導入時の報告書徹底のお願い」が届いた。導入時には添付の報告書にて日遊協に報告して頂きたい。
	なお、5月20日現在、759店舗でプログラムを導入、申し込みされたお客様数は18名。
	・第12号報告議案-3 ぱちんこ技能甲子園
	一般社団法人日本遊技機専門施行協会より「第一回ぱちんこ技能甲子園」の案内が届いた。日遊協にも加盟しているぱちんこ遊技機設置業者の組合。7月7日に協議会を開き、9月15日に結果発表会が開催される。結果発表会に開催案内は改めて届く予定。
	<b>その他</b>
	当件について、事務局より説明があった。
	その他-1 PCSAスケジュール
	その他-2 高井 崇志議員 質問主意書
	<b>次回開催</b>
	開催月日： 平成29年7月20日（木）
	開催場所： PCSA会議室
	開催時間： 午後4時～5時30分